

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

泉南市まち・ひと・しごと創生計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

大阪府泉南市

3 地域再生計画の区域

大阪府泉南市の全域

4 地域再生計画の目標

本市の人口は、平成 17 年（2005 年、国勢調査結果）の 64,683 人をピークに減少しているとともに、平成 27 年（2015 年）に策定した「泉南市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」における将来人口の展望では、令和 2 年（2020 年）の人口を 62,479 人と予測していたが、令和 2 年（2020 年）4 月の時点で 61,457 人まで減少し、予測を下回っている。

また、国立社会保障・人口問題研究所の平成 30 年度推計では、2045 年には人口が 44,169 人になると予測されている。

年齢 3 区分別の人口動態をみると、年少人口（0～14 歳）は昭和 60 年（1985 年）の 14,793 人をピークに減少し、令和 2 年には 7,772 人となる一方、老年人口（65 歳以上）は増加傾向にあり、令和 2 年には 17,629 人となっている。生産年齢人口も平成 12 年（2000 年）の 43,905 人をピークに減少傾向にあり、令和 2 年には 36,056 人となっている。

自然動態をみると、出生数は昭和 49 年の 996 人をピークに減少し、令和 2 年には 399 人となっている。その一方で死亡数は増加傾向にあり、平成 23 年（2011 年）以降は出生数を上回り、令和 2 年には 676 人（277 人の自然減）となっている。

社会動態をみると、増減を繰り返しながら推移しており、近年では平成 16 年（2004 年）頃に大型住宅開発を背景に転入超過がみられたが、以降は人口流出の

傾向が続き、令和２年には 250 人の社会減となっている。また、平成 24～25 年における年齢別の移動状況をみると、20 歳代から 30 歳代前半が移動の中心となっており、特に首都圏へは 20 歳代前半、大阪府内へは 30 歳代前半の転出が多くなっている。前者は首都圏の大学等への就学、後者は結婚等の機会に本市以外の府内へ新たに住まいを求めているものと推定される。

このように、人口減少については、出生数の減少（自然減）だけではなく、まちなにぎわいづくりにおける自治体間競争での苦戦や、新たな雇用機会の創出の少なさなどによる若年人口の市外流出（社会減）が考えられる。今後も人口減少が進むことで、地域における担い手の減少、公共施設やインフラの維持困難による生活基盤の崩壊、まちの魅力の喪失など、住民生活への様々な影響が懸念される。この背景を踏まえ、持続可能な自治体運営を確立するためには、人口減少に歯止めをかける必要があり、特に若年人口の社会減を抑制することが肝要である。

そのため、国の第２期まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げられた施策の中から、本市の特性と現状にフィットする施策をピックアップした、第２期泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げている次の事項を、本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成に取り組み、人口減少に歯止めをかける。

- ・基本目標１ にぎわいと交流が生まれるまち
- ・基本目標２ 子どもにやさしいまち・すべてのひとにやさしいまち
- ・基本目標３ 地域で支える暮らしの安心
- ・基本目標４ 国際的スポーツエリア『SENNAN CAMP』の創造

【数値目標】

５－２の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和 7 年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の重点プロジェ クト
ア	平日滞在人口率	0.99	1.06	プロジェクト 1
	休日滞在人口率	1.01	1.108	
イ	人口の社会増減	-250人	-213人	プロジェクト 2

ウ	自主防災組織率	62.2%	68.0%	プロジェクト3
エ	健康寿命 男性	77.65歳	79.32歳	プロジェクト4
	女性	80.91歳	83.85歳	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

泉南市まち・ひと・しごと創生事業（第2期）

ア にぎわいと交流が生まれるまちプロジェクト事業

イ 子どもにやさしいまち・すべてのひとにやさしいまちプロジェクト事業

ウ 地域で支える暮らしの安心プロジェクト事業

エ 国際的スポーツエリア『SENNAN CAMP』の創造プロジェクト事業

② 事業の内容

ア にぎわいと交流が生まれるまちプロジェクト事業

新たな地域資源を活かし、せんなんブランドを確立して内外に向けて発信するために、泉南アナゴに続く新たな特産品の開発や、産官学連携によるせんなんブランドの発見・発掘・創造に取り組むとともに、観光における広域連携に注力し、全国規模の誘客連携による地域活性化事業を実施する。

また、インバウンドを取り込み、交流人口や関係人口を拡大するために、SENNAN LONG PARK を核としたマイクロツーリズムを実践するとともに、官民連携によるサザンビーチのエンターテインメント拠点化事業に取り組む。

【具体的な事業】

・デジタルサイネージ導入

- ・ SENNAN LONG PARK をフックとした 4 シーズンズフェス開催
- ・ 観光予約システム及び観光アプリの開発 等

イ 子どもにやさしいまち・すべてのひとにやさしいまちプロジェクト事業

地域共生社会の実現をめざし、子どもとおとなが夢や希望を語り、心身ともに豊かに育つまちづくりを推進するために、子どもの権利を基盤に、子どもの話を聴き、寄り添うおとな（ゆうてみいサポーター）養成事業を実施する。

また、自治会集会場等を活用するための小さな拠点機能等整備事業とタイアップし、子どもをはじめとする多世代が気軽に集え、地域や地域住民個人が抱える課題を解決できるよう相談体制の構築・強化を実施する。

【具体的な事業】

- ・ オンブズパーソン制度の立ち上げのための人材育成
- ・ SOS～相談体制の構築・強化及び小さな拠点機能等整備
- ・ 多世代対応型総合相談を担う福まちサポートリーダーの養成 等

ウ 地域で支える暮らしの安心プロジェクト事業

安全・安心で将来にわたり安定したまちづくりを推進するために、総合防災力の充実・強化の推進として、災害時における情報伝達手段の多様化・多重化を図るとともに、自助・共助・公助の考え方のもと、地域防災力の要となる自主防災組織及び消防団機能への強化支援を実施する。

また、防犯対策を充実させるため、警察機関等と連携調整して防犯カメラを活用した地域の安全対策に取り組む。

【具体的な事業】

- ・ 超広域連携による防災体制の構築 等

エ 国際的スポーツエリア『SENNAN CAMP』の創造プロジェクト事業

誰もが生涯にわたって健康でいきいきと活躍でき、スポーツが楽しめるまちづくりを推進するために、既存のスポーツ施設群を活かすとともに、マイナースポーツやeスポーツの普及啓発を支援することで、スポーツエリアとしてのブランド化を図る。

また、JET プログラムを活用して世界基準のスポーツアンバサダー制

度を導入する。

【具体的な事業】

- ・大学との連携による『SENNAN CAMP』ブランディング
- ・スポーツコミッション設立支援
- ・JET プログラムと協調した夢の教室の開催 等

※ なお、詳細は第2期泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

650,000 千円（令和3年度～令和7年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度7月頃に外部組織である産官学金労言で構成する泉南市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会において、事業に関する効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後、議会に報告し、本市公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から令和8年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から令和8年3月31日まで